

# 平成 28 年度 技術部特別講演会および研修報告会報告

高田 昇治

工学系技術支援室 研修係

平成 28 年度は、平成 28 年 12 月 13 日（火）に、前年度同様に工学研究科・工学部技術部の特別講演会と研修報告会を VBL ベンチャーホール（3F）に於いて同時に開催した。同時開催は、今年度が 4 年目であり、環境安全技術系の分野で特別講演会を実施すれば各系で一巡したことになるため、来年度の研修係でアンケートをとり、見直しを検討することを研修係より提言した。

今回の参加者は、技術職員 46 名、教員 3 名であった。冒頭の開会の挨拶では、工学研究科長（技術部長）の新美先生より技術部において技術力を蓄積することが重要である等のお言葉を頂いた(写真 1)。特別講演では、「名古屋大学における地震防災対策」というタイトルで、災害対策室長 飛田 潤 教授に講演をしていただいた(写真 2)。他大学における災害の実例を示していただき、どのように災害に向けて備えるかなど有益な講演をしていただきました。特別講演会に引き続いて、研修報告会を行った。今年度は、平成 28 年度の個別研修報告が 3 件あり、順次報告された。その後、平成 28 年度技術系研修 4 件が報告された。報告発表時間は 20 分と例年通りであり、約 5 分間の質疑応答時間を設け、活発な質問に加え意見交換・情報交換が行われ、有意義に報告会を終えることが出来た。最後に、鷲見室長の代理として福森課長より閉会の挨拶があり、15 時 30 分に閉会となった。以下に当日のプログラムを記載した。



写真 1 工学研究科長 新美教授(開会の挨拶)



写真 2 飛田教授の講演の様子

## プログラム

日 時：平成 28 年 12 月 13 日（火） 8：45 ～ 15：30  
場 所：VBL 3 階ベンチャーホール

8：45～受付開始

1. 9：00～9：05 特別講演会・研修報告会開会の挨拶（司会・進行係：高田昇治）  
工学研究科長 新美 智秀 教授
2. 9：05～10：05 平成 28 年度 特別講演（司会・進行係：澤木弘二）  
演題「名古屋大学における地震防災対策」  
災害対策室長 飛田 潤 教授

3. 10:20～11:35 平成28年度 個別研修報告 (○ 印 : 発表者)

(司会・進行係: 藤原富未治、福森 勉、高田昇治)

(1) 10:20～10:45 「Spring Boot を使った Web アプリケーション開発」

情報通信技術系 ○福井清悟

(2) 10:45～11:10 「電解複合研磨の表面性状評価と超高真空装置への導入検討」

装置開発技術系 ○長谷川達郎

(3) 11:10～11:35 「TEM 観察用金属試料作製のための、電解研磨装置エコポールを用いた加工技術の取得」

分析・物質技術系 ○山本悠太、樋口公孝

----- 休 憩 -----

4. 13:30～15:20 平成28年度 技術系研修報告 (○ 印 : 発表者)

(司会・進行係: 藤原富未治、澤木弘二、福森 勉、高田昇治)

(1) 13:30～13:55 「プロジェクト管理ツールを用いた新人教育の実践」

情報通信技術系 ○藤原富未治、早川正人、太田芳博、伊藤康広、福井清悟、牧野輝、伊藤大作

(2) 13:55～14:20 「安全体感装置の安全衛生教育への活用」

環境安全技術系 ○松浪有高、河内哲史、後藤光裕、木村麻衣、舟橋朋、澤木弘二

(3) 14:30～14:55 「CAE (構造解析) 操作技術の習得 (Solidworks Simulation)」

装置開発技術系 ○山本遼、中西幸弘、森木義隆、中木村雅史、後藤伸太郎、磯谷俊史、足立勇太

(4) 14:55～15:20 「原子間力顕微鏡の操作技術の習得」

分析・物質技術系 ○日影達夫、森野慎一、伊藤広樹、都築賢太郎、林育生、神野貴昭、西村真弓、鳥居実恵、永田陽子、山本悠太、樋口公孝、高田昇治

5. 15:20～15:30 閉会の挨拶

工学研究科・工学部技術部 (工学系技術支援室長代理) 福森 勉

注) 発表および質疑応答時間

◇個別研修・技術系研修 (発表20分, 質疑応答5分)

予鈴: 一鈴・2分前、二鈴・終了、三鈴・質疑応答終了

平成27年度 研修係 高田昇治、永田陽子、斎藤彰、河内哲史、伊藤康広、森木義隆、都築賢太郎